

印刷して学生
みなさんで
お読みください！



全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：畠中 美南
協力：甲南大学生協
発行日：2026年1月4日

甲南大学生協 学生アドバイザー研修（共済について）



[新学期]

取り組み概要

日時：2025/11/15 10:00～15:00

場所：甲南大学岡本キャンパス

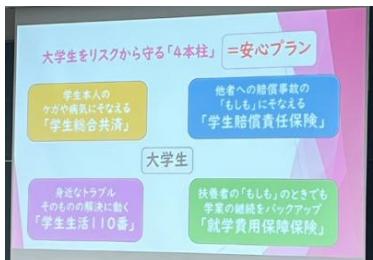
参加者：甲南大学生協の職員・学生アドバイザーに加え、日本コープ共済連およびJBRの方も講師として参加された。

背景や概要：2026年度新学期では共済の加入促進に注力するため、学生アドバイザー内に新たに「共済担当」を設けた。本研修は、この共済担当の学生を中心に、学生アドバイザー全体が共済について自分の言葉で提案できるようになることを目的として実施した。

学生が自分の言葉で伝える「安心プラン」

POINT.1

甲南大学生協の「安心プラン」



甲南大学生協の2026年度新学期では、CO・OP学生総合共済、学生生活110番、学生賠償責任保険、就学費用保険を個別に提案するのではなく、これらを「安心プラン」として1つにまとめて伝える新たな取り組みを行います。本研修では、「安心プラン」の提案に向けて、学生アドバイザーが4年間の大学生活を見据え、保障制度の重要性を理解するとともに、学部ごとの学生生活に即した形で、自らの言葉で自信をもって提案できるようになりますことを目指しました。

POINT.2

自身の経験から考える保障制度の重要性

グループワーク①では、高校時代やこれまでの大学生活を振り返り、今後やりたいことを整理することで、大学生活における共済をはじめとした保障制度の重要性を、「自分ごと」として捉えることを目的としました。個人の経験を振り返る中で、大学生活は高校時代に比べて行動範囲が広がり、それに伴ってリスクも増えることを実感し、保障制度の必要性への理解を深めることができました。さらにこの時間は、自身の経験を今後の提案内容に結びつけるための第一歩として位置づけられました。



POINT.3

学部別に考える大学生活と提案内容



グループワーク②では、日本コープ共済連およびJBRの方から保障制度の説明を受けた後、学部ごとに分かれて大学生活におけるリスクを整理し、「安心プラン」の提案内容を検討・発表しました。給付事例をもとに気づいた点を話し合いながら理解を深め、大学公式の学部パンフレットやグループワーク①で考えたことを参考に、学部ごとの4年間の活動や想定されるリスクを整理しました。その上で、「安心プラン」でどのようにサポートできるかを考え、学生目線で具体的な提案としてスライドにまとめることができました。

